

下越地区研究集会

1 地区研究集会の概要

- (1) 期 日 平成24年10月 4 日(木)
- (2) 会 場 胎内市立胎内小学校
- (3) 日 程

13:00	13:30	14:15	14:30	16:10	16:15
受付	開会式	移動 休憩	分 科 会	閉会式	

2 大会開催に向けて

大会を開催するに当たり、平成21年度佐渡大会をベースに考え、平成22年度新潟大会も参考にしながら計画準備に当たった。

胎内市小学校長会は7名と少数であり、新発田市小学校長会24名と聖籠町小学校長会3名を合わせ、胎内市・新発田市・聖籠町の3小学校長会の主管とし、34名が実行委員となった。

総務部、運営・会場部、研修部、要項・記録部、案内・送迎部の5部会に分かれ、準備を進めた。会場になった胎内小学校は、平成22年に2校統合で新築・開校されて間もない学校である。真新しい施設設備・駐車場の機能を十分生かして、大会を行うことができた。

本大会については、10部会22分科会を設定したが、質の高い分科会協議となるよう、次の3点を工夫した。

- ① 事前に世話人が司会者と綿密な打合せを行い、分科会の協議が深まるようにした。
- ② 分科会では、会員一人一人の実践発表の時間はとらず、全て協議の時間とした。
- ③ 分科会は、それぞれ協議内容を2点に絞って焦点付け、その話し合いを中心にした。

3 研究集会の概要

(1) 開会式

高橋雄一県小学校長会長は、挨拶の中で、「地域の教育の地平を切り拓く校長会として、研究大会の意義を確かめ、成果と課題を持ち寄り、明日からの解決に生かそう。」と語った。

桐生和文胎内大会実行委員長は、「226人のレ

ポート1本1本に価値があり、財産である。会員の絆を深めるとともに明日からの学校経営に生かそう。」と挨拶を行った。

続いて4人の方からご祝辞をいただいた。

まず、下越教育事務所長山田亮一様から、全国学力・学習状況調査結果に見られる本県の学力の実態と課題、いじめ問題への迅速・的確な対応、非違行為根絶に向けた厳正な指導などについて、ご指導を交えながらメッセージをいただいた。

次に、新潟市教育委員会教職員課課長補佐石坂学様が、学社民融合による教育など地域と協力し特色ある学校づくりに取り組むこと等について同市教育委員会教育長阿部愛子様メッセージを伝えてくださった。

また、地元胎内市長吉田和夫様からは、胎内小学校や城の山古墳の発掘など地元の話題を含めて、歓迎と大会の成功を期待するとのご祝辞をいただいた。

最後に、ご後援いただいた胎内市・新発田市・聖籠町の3教育委員会を代表して地元胎内市教育委員会教育長小野達也様から、城の山古墳の発掘に関連し、地域の歴史・文化を生涯学習の視点で捉え、社会全体で子どもを育みたいとお話をいただいた。

その後、金内敬太郎県小学校長会研修副部長が、大会趣旨説明を行った。

(2) 部会協議

前述の3点の工夫を生かし、各分科会で司会者のリーダーシップの下、絞られた協議内容について、校長自身のかかわりを巡り、活発で充実した討議が行われた。